

自然博物館発見ノート(観察編)

(野外：地学)

天気を調べよう

見学日	年	月	日
学校名	学校		
年 組 氏名			

ミュージアムパーク
茨城県自然博物館

1. 今、ここでみられる天気の様子をみてみましょう。

(1) まず、今の時刻を調べてみましょう。自然発見工房の近くに日時計がありますね。これを利用してみましょう。

(午前、午後・ 時 分)

(2) 風の様子はどうか。

①からだに感じる風や木を見て風を調べて○をつけましょう。

顔に風を 【 感じる 感じない 】

木の葉が 【 動く 動かない 】

②風の向きはどちらからですか。

()

③風の強さを表すものに風力階級があります。次の風力階級の基準をもとにまわりの様子をよく観察し、現在の風力を記入しましょう。

風力 ()

参考資料

風力階級(ビューフォート風力階級表による)

風力 10m	地上10mにおける 相当風速 m/ 秒	陸上での相当する状態
0	0～0.2	ほとんど感じない。けむりがまっすぐあがる。
1	0.3～1.5	風力はけむりなどでわかるが、風向計では風向がはかれない。
2	1.6～3.3	顔に感じる程度で、木の葉が動く。
3	3.4～5.4	木の葉や細い小枝が絶えず動く。軽い旗がひらめく。
4	5.5～7.9	砂ぼこりが立ち、紙片が舞い上がる。小枝が動く。
5	8.0～10.7	葉のある灌木がゆれはじめる。湖沼の水面に波がしらが立ちはじめる。
6	10.8～13.8	大きな木の枝がゆれはじめる。電線が鳴りはじめる。傘はさしにくい。
7	13.9～17.1	樹木全体がゆれはじめる。風に向かって歩きにくい。
8	17.2～20.7	小枝がおれて飛ぶ。風に向かって歩けない。
9	20.8～24.4	人家に軽い被害がではじめる。(かわらがはがれるなど。)
10	24.5～28.4	樹木が根こそぎ倒れる。建物に大きな被害がでる。あまり起こらない。
11以上 (28.5以上) はめったに起こらない。		

(3) 空を見てみましょう。

- ①全天の中で雲の占めている割合を雲量うんりょうといいます。雲がない場合を〔雲量0〕全天をおおっている場合を〔雲量10〕として0～10の段階で表します。今の雲量を判定してみましょう。

今の雲量 ()

- ②自然発見工房の壁には気圧計があります。今の気圧をみてみましょう。

今の気圧 () hPa (ヘクトパスカル)

- ③今の天気を判定してみましょう。

今の天気 ()

参考資料

- ・快晴 [雲量0～2] ・晴 [雲量3～7] ・雲 [雲量8以上]
ただし、次の現象がみられればこれを使います。
・雷 ・雨 ・雪 ・ひょう ・あられ ・霧 ・煙霧えんむ ・等